

## (株)E & CSが第1回「ジャパン・レジリエンス・アワード2015」で優秀賞を受賞しました

(株)E & CSは、第1回目となる「ジャパン・レジリエンス・アワード2015(強靱化大賞)」にて優秀賞を受賞しました。この賞は、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会※裏面参照 主催で、全国から約200件の応募があり、その中からグランプリ1団体・金賞各部門1団体・特別顧問賞2団体・特別賞1団体・最優秀賞19団体・優秀賞36団体・優良賞32団体が選ばれました。表彰式は、3月15日(日)、仙台市民会館にて、3月14日(土)から開催されている国連防災世界会議の併催イベントとして行われました。

エントリーは4部門に分かれており、(株)E & CSは「企業・産業部門」にエントリーし、今までの防災減災への取組みに高い評価を頂くことができました。今後も、「次世代に向けた強靱化社会の構築」という意識をより高め、一層、皆様に必要とされる会社を目指します。

### ■ 部門は4つ ■

企業・産業部門

地方自治体部門

教育機関部門

NPO・市民活動部門



### ジャパン・レジリエンス・アワード

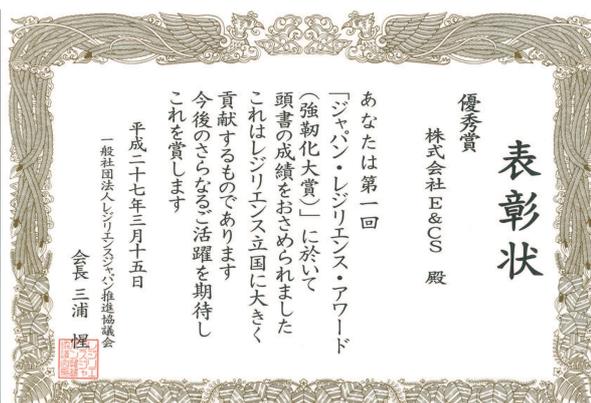
一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会は、「強靱化(レジリエンス)社会構築へ向けた取組み」として、「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」を創設し、次世代に向けたレジリエンス社会を構築するために全国各地で展開されている“強靱化”(レジリエンス)に関する「先進的な活動を発掘、評価し、表彰する制度」です。

### (株)E & CSがエントリーした活動、技術、製品等の概要(抜粋)

項目	概要
活動、技術、製品等の名称	トグル制震装置、レンズ型制震ダンパー、リング摩擦ダンパー、ディスクシアキー
活動、技術、製品等の紹介	建物の耐震補強(制震)としてまた、新築時の制震用装置として使用するダンパーの開発、製作、販売を行う。ダンパーは現在3種類。増幅機構が付いた油圧ダンパーのトグル制震装置、低降伏点鋼(柔らかい鉄)を使用したレンズ型制震ダンパー、リング状ばね材を使用したリング摩擦ダンパーである。さらに、制震装置や補強部材を既存建物に取り付ける際に使用する接続金物のディスクシアキーの販売も行っている。
目的	各ダンパーは既存建物の耐震補強用として地震時の建物の変形を抑え、建物の損傷を軽減する。同時に新築建物では地震時の揺れを抑える効果により、利用者の安心安全に寄与する。接続金物のディスクシアキーは強度の低いコンクリートや、アンカーの埋込深さが確保できない場合にも対応でき、建物補強の適用範囲を広げている。
実績	トグル制震装置: 140棟(6000セット)⇒2000年より市場に投入。官公庁を中心に実績多数。特に旧耐震建物補強として採用された仙台市役所・南相馬市役所等は3.11地震時にもその性能を発揮し、建物の損傷が少ないことが各方面に取り上げられた。また新耐震建物も3.11地震で大きく揺れた為、BCP対応として揺れ軽減の需要が生じ、都内を中心に8物件に装置を取り付けた。現在、制震構造を検討する際には必ず検討に上がるデバイスとなった。



優秀賞盾



賞状



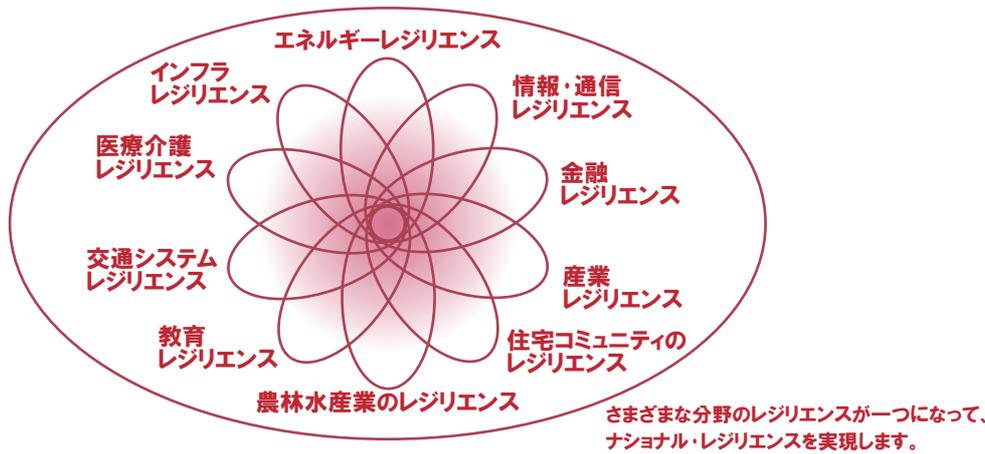
授与式(右: E & CS社長沼口)

## 「一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会」

国土強靱化担当大臣私的諮問機関「ナショナル・レジリエンス懇談会」の結果を踏まえ「国土強靱化基本計画」が円滑に達成されるよう、産、学、官、民のオールジャパンでその叡智を結集し、非常時のみならず平時での戦略的活用の方策を創造することにより、公共投資、民間投資が最大限に相乗効果を発揮し、レジリエンス立国を構築していくことを目的として設立されました。国民の生命と財産を守り抜き、さらには日本の産業競争力を高め、事前防災・減災の考えに基づき「強くてしなやかな国」をつくるための「国土強靱化（ナショナル・レジリエンス）」に関する総合的な施策づくりや、その推進に寄与するとともに、できるだけ多くの国民の方に向け、国土強靱化の理解を促進し、行動を誘発していくことをミッションとしています。

ハード + ソフト 平時 + 有事 公共投資 + 民間投資

### オールジャパンで進める ナショナル・レジリエンス 国全体の強靱性



国土強靱化（ナショナル・レジリエンス）の構造

会長

三浦 惺 氏

日本電信電話株式会社 取締役会長

副会長

藤井 聡 氏

内閣官房参与、  
京都大学大学院工学研究科 教授

## 各部門共通評価基準と上位受賞団体

評価項目	基準
防災・減災への効果	災害を減らす、防ぐ等の効果がある
防災・減災以外の効果	経済・社会・環境等に公共的効果がある
先駆性・革新性	従来の技術やサービスと一線を画した先駆的な発想でつくられている
持続性・継続性	中長期的な取り組みである
波及性	取り組みモデルとしての他への波及性がある

### 👑 グランプリ

和歌山県田辺市立 新庄中学校 「新庄地震学」を中心とした防災学習

過去の新庄地域での災害被害に学び、やがて到来するであろう南海トラフ地震津波に対応できる地域住民の育成を目指し、第3学年で毎週1時間、「新庄地震学」の授業を設け、14年にわたり生徒全員が防災の課題に取り組んできた。このことで、学習経験を積んだ地域住民が増えていき、防災意識の高いまちづくりに貢献している。また毎年行う地域住民向け発表会や防災カレンダーの配布等、生徒の主体的な働きかけが、過去の被害の風化を食い止め、現状に応じた地域の防災意識の高揚に結び付いている。

### 🌟 金賞(企業・産業部門)

ユアサ商事株式会社 「『産業と暮らし』分野における国土強靱化コミュニケーション活動」

### 🌟 金賞(地方自治体部門)

静岡県及び関係市町 「巨大津波に備える防潮堤『静岡モデル』整備の取組」

### 🌟 金賞(教育機関部門)

美(うま)し国おこし、三重さきもり塾、美し国おこし三重・さきもり倶楽部

「『さきもり塾』と『さきもり倶楽部』を両輪とする地域実践型の防災人材育成および防災コミュニティ形成プロジェクト」

### 🌟 金賞(NPO・市民活動部門)

東日本大震災支援全国ネットワーク 「東日本大震災支援全国ネットワーク」